

会議録

会 議 の 名 称	令和4年度第14回新城市若者議会
開 催 日 時	令和5年3月3日（金）午後7時から午後9時まで
開 催 場 所	市役所4階会議室
会 議 の 内 容	令和4年度第14回新城市若者議会 ・若者議会についての説明 ・第8期若者議会活動報告 ・ぶっちゃけトーク！！（お悩み相談会） ・委員会ごとの会議

1 若者議会についての説明

第9期若者議会への参加を検討している方たちに向けて若者議会の概要を説明した。

2 第8期若者議会活動報告

各委員会から3つの事業について活動報告を行った。以下は活動報告の内容である。

交流委員会 「ヤングコネク ト事業」	<p>交流委員会は、実現したい新城市の未来として「市民同士が助け合えるまち ～市民同士が助け合い、安心して住み続けられるまち～」を掲げました。この未来を目指すにあたり、私たちは新城市の現状として、コロナやインターネットの普及により『日常的な交流が減っていること』が問題だと考えました。日々の暮らしや災害時での助け合い、そして安心して住み続けられるまちにするには、普段からの日常的な交流が必要不可欠だと考えたからです。</p> <p>この問題を解決し、掲げた未来に近づけるために、私たちは長期的な目標として、市民が「気づいたら日常的な交流ができているまち」を目指します。</p> <p>そしてそのために、まずは私たちの身近な存在である若者に、交流の大切さや今地域にある交流などを知ってもらう機会を作り、交流の意識を持ってもらいたいと思います。</p> <p>以上のことから、私たちはターゲットを新城市民とし、中でも13歳～29歳の若者世代を対象に政策を考えました。政策内容としては、情報発信ツール「ヤングほのか」を作</p>
--------------------------	---

	<p>成します。「ヤングほのか」とは、広報ほのかとは違った若者目線で伝える「交流のきっかけ作り」になる広報雑誌です。同じ若者だからこそわかる若者が必要としている情報や、若者の視点に合わせた内容を伝えることができ、より親しみを持ってもらえるのではないかと考えます。また、若者に向けて地域で埋もれていた情報を届けることも可能です。</p> <p>掲載内容としては、地域のイベントやボランティア情報、挨拶啓発・防災情報などを主に載せていきたいと考えています。ページ数は8ページ、写真も多く掲載するなど読みやすく持ちやすいものにしていきます。更新頻度は8月号、10月号、1月号、4月号と年に4回作成します。SNSや紙媒体を使って若者を中心に伝え、紙媒体の配布場所については学校などの公共施設を中心に設置します。「ヤングほのか」を若者以外の方にも目に触れてもらうことで、世代間交流のきっかけになることも期待できるため、若者以外の市民が多く利用すると思われる場所にも設置する予定です。</p> <p>掲載内容の詳細については現在案を検討しています。実際に来年度雑誌を制作していく際には、来年度の若者議会のメンバーに協力を仰ぐほか、ヤングほのか編集委員を募集し、より色濃く若者の意見が反映されるように工夫する予定です。</p> <p>ヤングほのかのメリットとしては、このヤングほのかの作成により、交流が促進され新たな繋がりが生まれると思われると思います。例えば、新都市に住む外国人との接し方を知ることによって、人と人との新たなつながりを作ることができます。また、イベント情報や交流の大切さを知った若者が、自ら交流したり、活動を起こすきっかけとなり、地域の活性化につながると思います。さらには、ヤングほのかという情報発信手段ができることによって今まで気づけなかった新都市の魅力に気づき、市への愛着を持つことが期待されます。</p> <p>最後に想定される費用としては、印刷製本費39万千円を想定しています。</p>
<p>教育・子育て委員会 「目指せwell-being！プレコンで明るい未来を作ろう事業」</p>	<p>この事業では、将来の自分自身の幸せをテーマとして、新都市で安心して子どもを産んで育てることができること、それによって幸せに子育てができることを目的としています。なぜこのようになったかという点、私たち若者は子どもを産む・育てるための知識や経験がなく、そこに至るまでの性教育も不足していると自分たち自身が感じるからです。この原因については、情報を得る機会として、学校では学ぶことに限界があること、インターネットでは信憑性に欠けること</p>

などが挙げられ、このことが望まない妊娠や出産、中絶、ひとり親、DVにもつながっているのではないかと考えます。この状況から私たちは、将来親となる若者が性教育を学べる機会を作る必要があると考えました。正しい知識を得るだけでなく、命の大切さにも触れることで、責任ある妊娠・出産へとつなげることができると思います。

そこで、私たちは2つの政策案を考えました。1つはお出かけ講座の普及、もう1つはイベントの実施です。

1つ目のお出かけ講座は、市の職員が、市民からの依頼に応じて市の制度などについて説明するものです。様々なメニューがありますが、性教育に関係するものでは、既に実施されている「いのちの授業」に加え、新設予定の「プレコンセプションケア」があります。いのちの授業とは、小学校から高校生までが、各年代に合わせた内容で命の大切さについて学ぶことを目的とし、プレコンセプションケアとは10代後半から25歳までを対象に、女性の生理や出産、妊娠を個人やパートナー同士が考えながら自分たちの生活や健康に向き合っていくことを目的としています。この2つのお出かけ講座を普及するために、お出かけ講座を依頼してくれる学校の先生、保護者、企業を対象に、宣伝チラシを作成して配布したり、対象者に説明会を行ったりします。

2つ目の政策であるイベントは「プレコンセプションケア」について行います。1つ目のお出かけ講座を普及する政策では、市民からの依頼がないと講座を実施できないため、こちらのイベントは市が主体的に開催します。

ターゲットは、プレコンセプションケアが対象としている概ね16歳から25歳までを想定しており、10人～20人の規模で、令和5年度は2回、文化会館での開催を検討しています。内容としては、プレコンセプションケアについて学ぶ講座をメインとして、妊婦ジャケットや赤ちゃん人形を使った体験やワークなどができるようなものを計画しています。

2つの政策案の費用に関しては、消耗品費1万9千円、印刷製本費4万4千円、会場使用料6千円を計上しています。

私たち教育・子育て委員会では、これら2つの政策案を実施することによって、新都市に住む若者が命の大切さや正しい知識を学べ、自分自身や相手の心身を守ることができ、将来の選択肢が広がると考えています。また、女性だけでなく、男性もお出かけ講座やイベントに参加することで、妊娠や出産、子育てを女性事ではなく、家族事と捉えるようにな

	<p>り、意識の向上・改善が期待されます。その結果、予期せぬ妊娠等による貧困やDVを未然に防ぐことができ、安心して子どもを産み、幸せに子育てができるようになり、新城市で子育てをしたいという人が増えていくのではないかと考えています。</p>
<p>観光委員会 「家族がつなぐ 新城思い出事業」</p>	<p>観光委員会は「世代を超えて何度も訪れたいまち」を目指し、政策を検討してきました。子どもの頃に新城を何度も訪れ、思い出をつくってもらい、それが子どもの頃の記憶として残ることで、子どもが大人になったときに今度は自分の子どもを連れて遊びに来てくれるという好循環をつくることを目的としています。</p> <p>私たちは、新城市という名前は知られていても、このまちの魅力を知っている人はまだまだ少ないと感じました。そこで、まずは近くのまちの人に新城の観光の魅力を知ってもらうことで観光客の増加を目指すことにしました。</p> <p>子どもに思い出をつくらうため、ターゲットは愛知県内と浜松市の子ども連れの家族とし、親に対してPRを行います。子どもの年齢については、記憶が残りやすい小学校低学年くらいを想定しています。</p> <p>この目的とターゲットを軸とした政策として、私たちはY o u T u b eの動画広告機能を活用したPRの実施を提案しました。</p> <p>総務省が実施したSNSに関する調査から、Y o u T u b eの利用率が全年代において高く、ターゲットである親世代にも利用者が多いことがわかったため、スマホで情報を得る機会が多い現代において効果的なPRを行うことができるSNSを利用し、その中でもとくに利用率の高いY o u T u b eを活用するのがよいと考えました。</p> <p>しかし、Y o u T u b eは視聴者自らが検索をして見ようとしなければ見られません。市のY o u T u b eチャンネルでもいくつか動画が投稿されていますが、視聴回数は数百回から数千回ほどです。そこで、もっと多くの方に見てもらうために私たちが考えたのがY o u T u b eの動画広告です。</p> <p>Y o u T u b e動画広告とは、動画を視聴する前や途中に流れる広告のことです。これを利用することで、検索をしなくても受動的に動画を見てもらうことができます。</p> <p>Y o u T u b eの動画広告を実施するのに伴い、広告配信用の観光PR動画を作成します。新城市の観光資源のみを映した動画は既に市のY o u T u b eに投稿されていますが、より多くの人に最後まで見ていただけるよう、家族をテーマと</p>

	<p>した感動するストーリー仕立ての動画を提案しました。さらに、動画の中で子ども達が楽しんでいる様子を映すことで子ども連れが共感しやすい動画となり、「新城市に子どもを連れて行きたい」と思っていたことで実際のアクションに繋がれると考えました。</p> <p>次に市へのメリット・効果についてです。YouTubeで動画広告を行うことにより、半強制的に新城の広告を見ることが出来ます。また、YouTube広告はエリア、年齢、興味・関心などからターゲットを詳細に絞って流すことができるため、従来の広告手段よりも効率的かつ的確にターゲットに広告を届けることができ、家族連れ観光客の増加が期待できます。新城市としても初めての試みなので、モデル事業としての役割も果たすことができると考えています。視聴データや効果等も分析していただいた上で、今後の市のPR活動の新たな選択肢の1つになればと思っています。</p> <p>最後に想定される費用についてですが、YouTube宣伝広告委託費として100万円、観光PR動画企画運営委託費として15万円となっています。</p>
--	---

3 質疑応答

若者議会についての説明及び第8期若者議会活動報告に対する質疑応答を行った。以下は、参加者からの質問及びそれに対する回答である。

質問	<p>予算提案権は1,000万円とのことであるが、1,000万円に届かなかった場合、余ったお金はどうなるか。</p>
回答	<p>積算が1,000万円を超えた場合は、1,000万円に収まるように調整するが、当然1,000万円に届かない場合もある。今期についても提案予算額は、約200万円程である。お金が余るということではなく、上限1,000万円の範囲内で予算を提案するということである。</p>
質問	<p>「ヤングほのか」の名前の由来は何か。</p>
回答	<p>市で毎月発行している広報紙として「広報ほのか」というものがある。より市民に親しみのある若者向けの情報誌を作成すべきという思いから「ヤングほのか」という名前にした。</p>

4 ぶっちゃけトーク！！（お悩み相談会）

グループに分かれて、参加者が第8期若者議会のメンバーに聞きたいことや第9期若者議会に応募するにあたり不安なことなどを質問する時間とした。

5 委員会ごとの会議

各委員会に分かれて、事業の詳細等について話し合った。

終了時間：午後9時